

令和6年度 富山県水墨美術館展覧会スケジュール（予定）

展覧会名		会 期	内 容	観覧料（円） （ ）内は20人以上の団体
企 画 展	川端龍子展	3月15日(金)～ 5月26日(日)	近代日本画の巨匠、川端龍子（1885-1966）は、明治から昭和の時代を生き、青龍社を主宰、「会場芸術」を提唱しました。大胆で豪快な表現とそれまでになかった日本画のスタイルを確立させ、異彩を放った龍子の魅力に迫ります。	一 般 900 (700) 大学生 450 (350)
	没後100年 富岡鉄斎	7月12日(金)～ 9月4日(水)	「最後の文人画家」と称される富岡鉄斎（1836-1924）。幕末の京都に生まれ、幅広い学問を修め多様な画派を学び、独自の画境を拓きました。代表作をはじめ、再発見された作品や遺愛の品々を通して、その画業と生涯を展覧します。	一 般 1,500 (1,200) 大学生 1,200 (1,000) 前売：一般のみ1,200
	歌麿、北斎、若冲、蕭白、秋暉… 魅惑の摘水軒コレクション —江戸絵画の奇才たち	9月14日(土)～ 11月10日(日)	摘水軒は、江戸時代の柏村（現千葉県柏市）に開設された寺嶋敏巧氏による私塾「摘翠軒」を元に設立されました。多くの文人墨客が残した、肉筆浮世絵・花鳥・動物画からなる江戸絵画コレクションの公開は、北陸初となります。	一 般 1,500 (1,200) 大学生 1,200 (1,000) 前売：一般のみ1,200
	卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展	11月22日(金)～ 1月19日(日)	日本を代表する陶芸家であり、「志野」における重要無形文化財保持者（人間国宝）、鈴木藏（1934生まれ）の作陶の軌跡と今を紹介する卒寿記念展です。初期から最新作までの優品を通して、その神髄に触れていただきます。	一 般 1,000 (800) 大学生 500 (400) 前売：一般のみ 800
	ひらけ墨画ワールド 園家誠二 つくる世界・そだてる絵	2月21日(金)～	水墨画ワークショップで子どもたちが制作した作品と、講師をつとめる富山県出身の画家・園家誠二の作品を展示します。作品と共に、日本画に使われる画材なども紹介し、墨の表現を様々な角度からお楽しみいただけます。	一 般 500 (400) 大学生 250 (200) 前売：一般のみ 400
常 設 展	通 年	常設展示「近代水墨画の系譜」 「下保昭作品室」において、当館のコレクションを紹介します。	一 般 200 (160)	

○無料観覧【常設・企画展】①小・中・高校生及び、これらに準ずる方、社会人等で18歳以下の方の観覧
②学校教育・社会教育活動としての児童・生徒の引率者の方々の観覧（観覧料免除申込書が必要）
③各種手帳をお持ちの障がい者の方の観覧（付き添いは手帳をお持ちの方1人につき1名まで無

料)
【常設展のみ】 70歳以上の方の観覧（年齢を証明できるものが必要です）
大学生及びこれに準ずる方の観覧（在学を証明できるものが必要です）
○開館時間 =午前9時30分から午後6時まで（ただし、入室は午後5時30分まで）
○休館日 =月曜日（祝日を除く）、祝日の翌日、年末年始、臨時休館日 ※1/21～2/20は館内メンテナンスのため長期休館